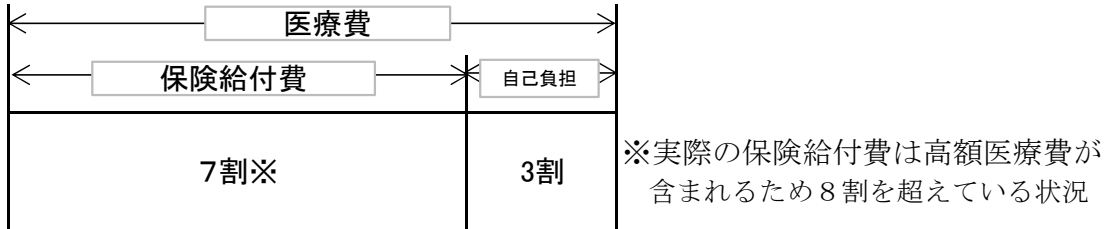


平成31年度納付金算定について

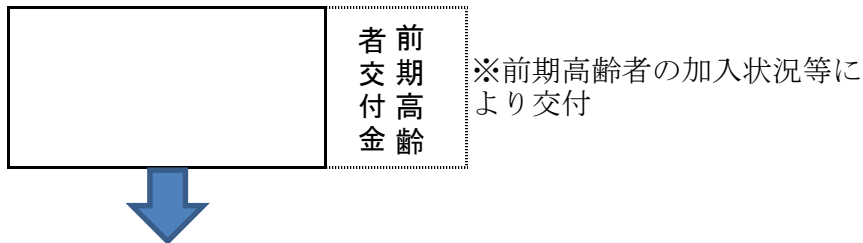
1 納付金等算定の流れ(イメージ)

イメージ 1

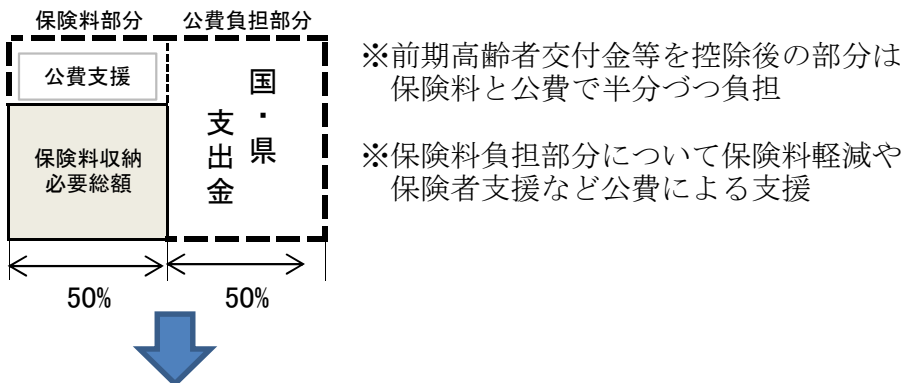
① 保険給付費の算定



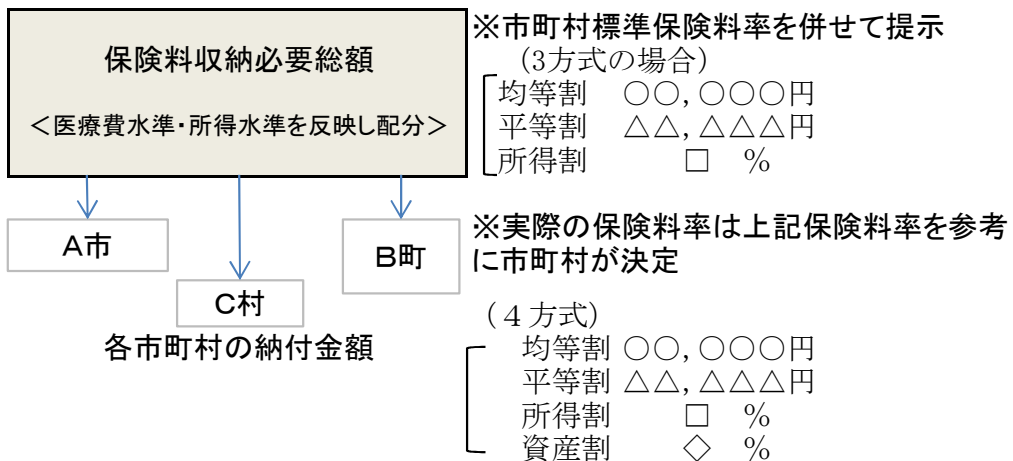
② 前期高齢者交付金等の控除



③ 国庫・県支出金及び公費支援の控除



④ 各市町村の納付金額の算定



イメージ 2

保険料収納必要総額
(納付金算定基礎額)



応益分



応能分

51

49

1

: β (0.95508...)

P1

※ β = 応能分への納付金の配分割合を調整

道府県平均一人当たり所得
全国平均一人当たり所得

【人数シェア】

【所得シェア】

<被保険者数で按分>

<所得額で按分>

※長野県では世帯数も勘案

+

<各市町村の医療費水準を反映>

P2

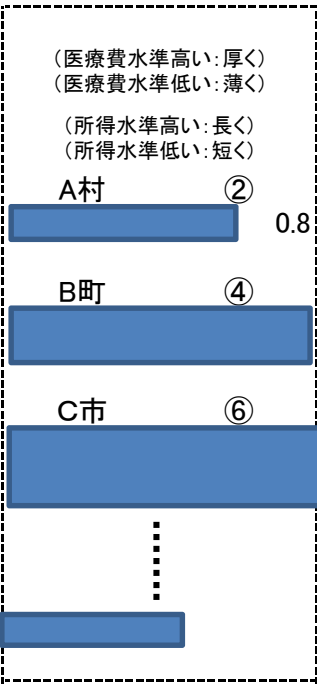
- ※1 医療費水準は100%反映(≠統一保険料水準)
- ※2 高額医療費(80万円超)は全市町村で共同負担(医療費実績調整)
- ※3 所得額は賦課できる所得限度額の総計で按分<国基準>



応益分



応能分



P3

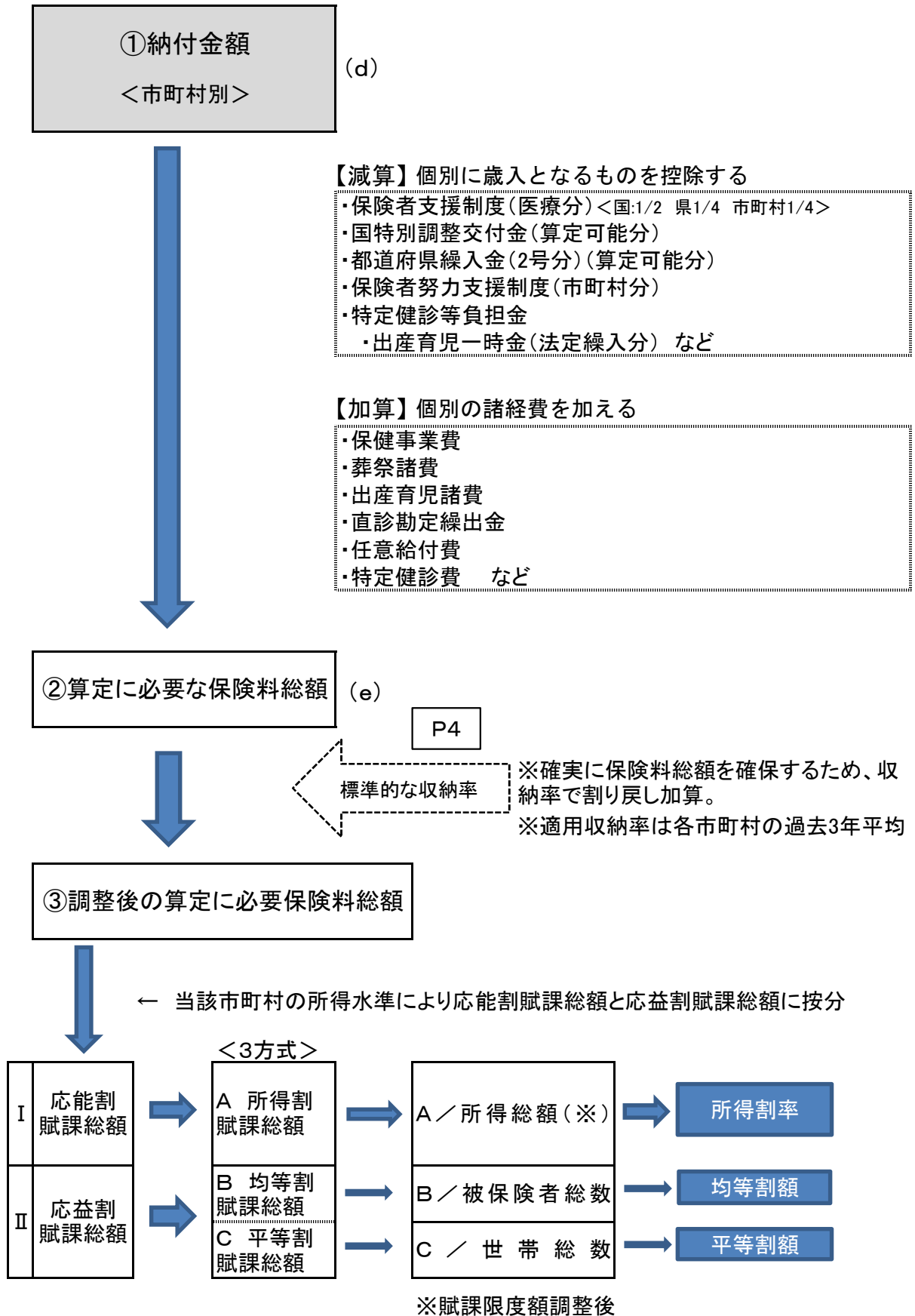
- ※1 応益分は「均等割分」と「平等割分」に配分(割合=長野県の過去3年間の実績平均)
- ※2 配分方式は3方式(所得割、均等割、平等割)

【各市町村の納付金基礎額】

- A村 = ① + ②
- B町 = ③ + ④
- C市 = ⑤ + ⑥

※実際の納付金額は上記納付金基礎額に審査支払手数料や地方単独事業の減額調整分等を加算。

2 市町村別標準保険料率算定の流れ(イメージ)



3 平成31年度納付金等算定における確認事項

国から「医療費」と「被保険者数・世帯数」の推計方法・補正方法が提示され、市町村の意見を聞きながら検討を進め、以下のとおり行うこととした。

(1) 被保険者一人当たり医療費

国から示された推計方法は次の2種類

	元となる医療費	×	伸び率の期間	備 考
①	平成30年度の一人当たり医療費	×	H28-H30年度	H30年度の基本的な推計方法 H30年度の医療費は、後半分を推計により算出
②	平成29年度の一人当たり医療費	×	H26-H29年度	H27年度の高医療費の影響でH28年度は大幅な減少率となったことから、こうした特殊事情を補正するため、実績値のある直近3年間の伸び率により補正する推計方法⇒H31年度の基本的な推計方法



長野県の推計方法	上記2通りの方法で推計を行い、推計結果がより大きくなる方法を採用する。
----------	-------------------------------------

(2) 被保険者数・世帯数

国から示された推計方法は次の2種類

	元となる数	×	伸び率の期間	備 考
①	平成30年度の被保険者数(平均)	×	H29-H30年度	H30年度の被保数は、後半分を推計により算出
②	同上	×	同上	70歳以上と70歳未満を分けて適宜補正する方法



長野県の推計方法	①の方法で推計するが、H30年度の70歳以上の被保険者数の実数を確認し、必要に応じて補正を検討する。
----------	--